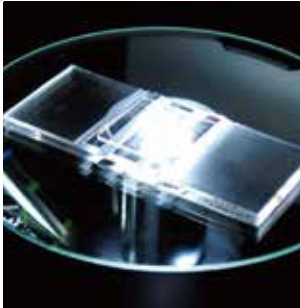
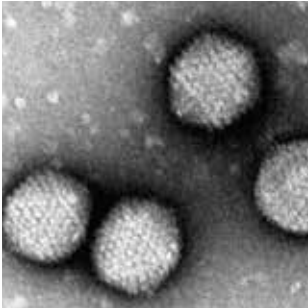
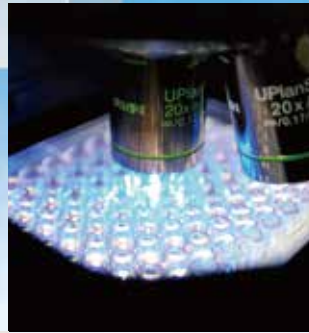
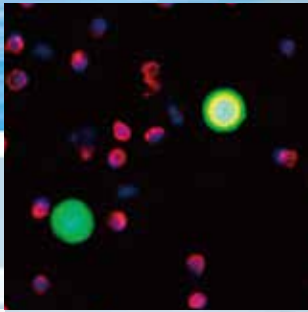


# **Oncolys BioPharma**



## 難病治療の歴史に足跡を刻みたい

私たちは、世界でも今なお治療法の確立していない「がんと重症感染症」という難病治療に向けて、独自のウイルス研究により安全で有効な新薬を開発し、患者様に新しい治療の選択肢を提供していくことを使命としています。いわゆるオーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)と呼ばれる領域は、患者数が少ない故に大手製薬企業ではその治療薬の開発が見送られています。しかし、一方でこのような薬こそ、いま最も切実に求められています。

私たちは小規模なバイオベンチャー企業です。しかし、だからこそ大手製薬企業が手を出しにくい患者数が少ない新薬開発を推進し、これをビジネスとして成立させ得ることが可能であり、アンメットメディカルニーズ(未だ有効な治療方法がない医療ニーズ)に挑戦する力を備えた企業であると自負しています。

人々が待ち望んでいるがんや重症感染症の克服というゴールは、何十年あるいは百年以上先にあるかはわかりません。しかし、新薬開発への情熱を持ち、たゆまぬ努力を重ねることにより、今日よりも明日の治療をより良いものとし、患者様の力となってゆきたいと考えています。

私たちは、新薬開発をこのように位置づけ、一つひとつの新薬開発が難病治療の進歩への確かな足跡となることを目指し、その開発に取り組んでまいります。



オンコリスバイオファーマ株式会社  
代表取締役社長 浦田泰生

### 経営理念 Management Philosophy

## ウイルス学に立脚した創薬技術を駆使して、 がんや重症感染症の治療法にイノベーションを起こし、世界の医療に貢献したい

- 1 私たちが求めて止まないのは、医療のイノベーションです。そのために、普段からの医学研鑽を惜しみません。
- 2 少人数で大きな仕事を成し遂げてこそ、アドベンチャーと言えるでしょう。大企業に出来ないことこそ、私たちが成し遂げるべき目標となります。
- 3 いくら儲かるからではなく、どれだけの人を救えるかに価値観をもち、その結果としての利益を追求してゆきたい。
- 4 経営者と社員だけではなく、株主様ともこの意識を共有してゆきたい。
- 5 常に透明な経営を心がけ、定期的な情報公開を行ってゆきます。
- 6 社会貢献を目指す社会人として、常にコンプライアンスの遵守を心がけます。

### 経営戦略 Management Strategy

## ウイルス学に立脚した独自の創薬を推進

当社は、「Virology(ウイルス学)に立脚した創薬」を事業のコンセプトとして、医薬品事業及び検査事業の両輪による企業活動を推進しています。

医薬品事業においては「がんと重症感染症」を対象に、これら難病への新たな治療オプションとなる安全で有効な新薬を創出し、検査事業では当社のプラットフォーム技術であるウイルスの遺伝子改変技術を活かした新しい検査サービスを提供します。これらの成果により複合的な収益構造を築き、より安定した経営環境において現有する新薬候補品の開発を加速させ、さらに将来への事業継続・拡大のために、難病治療に貢献できるような新薬シーズの探索、導入を積極的に行ってゆきます。

### パイプライン pipeline

## パイプラインの進捗一覧

医薬品事業		開発段階				
パイプライン / 開発プロジェクト	適応症	探索	前臨床	臨床試験		
				Phase I	Phase II	Phase III
腫瘍溶解ウイルス Telomelysin® テロメライシン®	食道がん					
	メラノーマ					
	肝細胞がん					
分子標的薬 OBP-801	各種固形がん					
	眼科領域					
抗ウイルス薬 OBP-601 (Censavudine) OBP-AI-004	HIV 感染症					
	B型肝炎					

検査事業			開発段階		
領域	パイプライン / 開発プロジェクト	適応症	基礎研究	臨床研究	臨床性能試験
がん検査薬	ウイルス TelomeScan® OBP-401/1101	各種がん			

## テロメライシン®(OBP-301) Telomelysin®

「風邪のウイルスががん細胞を破壊する」

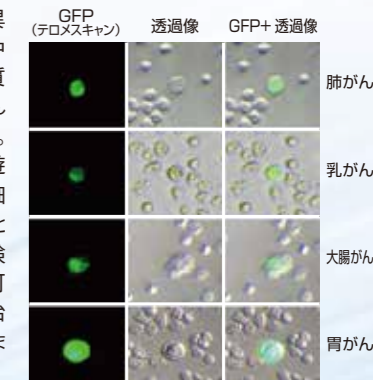
テロメライシン®(OBP-301)はテロメラーゼ活性の強いがん細胞で特異的に増殖してがん細胞を破壊する、遺伝子改変型アデノウイルスです。固形がんの局所に投与されて効果を発揮することから、手術・放射線治療に次ぐ、第3の「がん局所療法」を確立するために開発が進められているほか、新たに「がんのウイルス療法」として、転移がんを含めた全身治療に寄与する治療法としての概念を展開するに至っています。



## テロメスキャン®(OBP-401/1101) TelomeScan®

「見えないがんを可視化して、がんの超早期発見を目指す」

テロメスキャン®はがん細胞で特異的に増殖するウイルス遺伝子の中に、クラゲの緑色蛍光タンパク質(GFP)の遺伝子を組み込み、がん細胞を特異的に蛍光発光させます。この作用によって、がん組織から遊離して血液中を循環しているがん細胞(CTC)を高感度に検出することができるようになりました。これまで検出が難しかった早期がんの検出を可能にし、術後患者の予後予測や治療方法の選択を可能にしてゆきます。

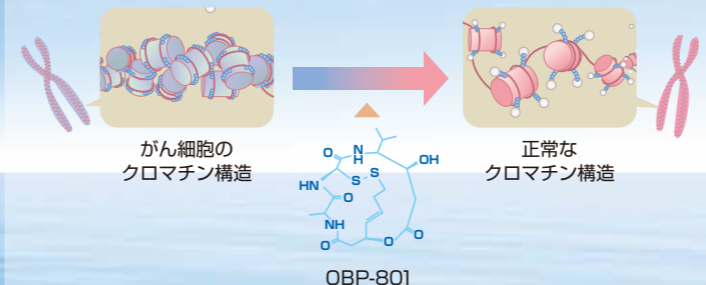


テロメスキャンによって検出された CTC

## OBP-801

「がんのエピジェネティック治療法を確立する」

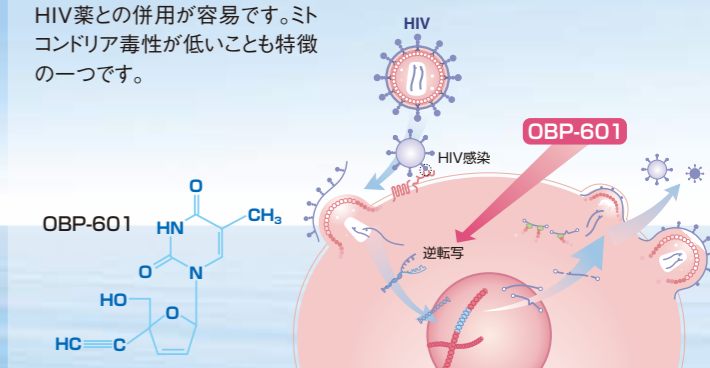
OBP-801は後天的なメカニズムによって変化した染色体のクロマチン構造を正常化させて抗腫瘍作用を発揮する、ヒストン脱アセチル化酵素(HDAC)阻害剤です。OBP-801はがん細胞に作用して、その細胞内でがん抑制因子p21を活性化させ、がん細胞の増殖抑制や細胞死を誘導することが明らかになっています。



## OBP-601 (Censavudine)

「既存の耐性ウイルスに対して効果を発揮する」

OBP-601 (Censavudine) は核酸系の逆転写酵素阻害剤(NRTI)で、HIV感染症の治療薬として開発が進められています。既存のNRTI耐性ウイルスに対する幅広い活性を有しています。また、1日1回投与が可能であり、既存の抗HIV薬との併用が容易です。ミトコンドリア毒性が低いことも特徴の一つです。



会社名 オンコリスバイオファーマ株式会社

設立 2004年3月18日

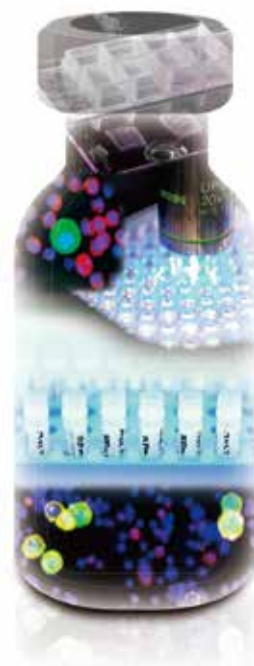
資本金 58億2百万円(2017年12月31日現在)

代表 代表取締役 浦田泰生

事業内容 腫瘍殺傷ウイルスの研究・開発・製造・販売・輸出入  
医薬品及び癌検査薬の研究・開発・製造・販売・輸出入

取引銀行 三井住友銀行 日本政策金融公庫 みずほ銀行  
三菱東京UFJ銀行 神戸信用金庫 みなと銀行

上場市場 東証マザーズ(証券コード:4588)



アクセス

Access

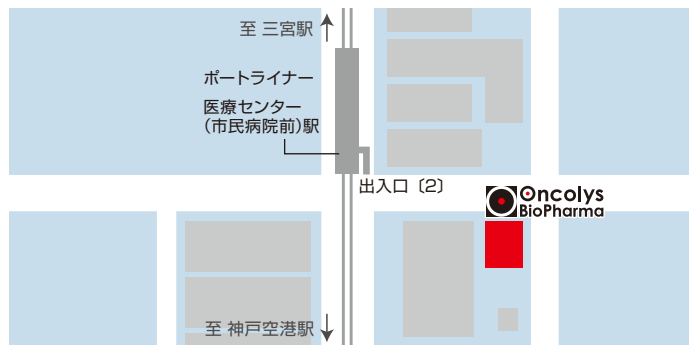
本社

〒105-0001  
東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス10階  
TEL.03-5472-1578(代) FAX.03-5472-1488



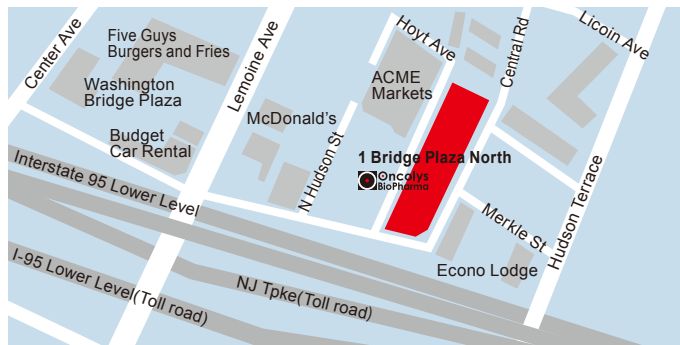
神戸検査センター

《オフィス》  
〒650-0047兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-4 HI-DEC 2階  
TEL.078-303-1380 FAX.078-303-1381  
《検査センター》  
〒650-0047兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-4 HI-DEC 3階



Oncolys USA Inc.

1 Bridge Plaza 2nd floor, Fort Lee, New Jersey, 07024 USA  
Phone:+1-201-527-0953



<http://www.oncolys.com/>